

会議結果報告書

1. 会 議 名 令和6年度 第3回 印西市環境推進会議（市民会議）
2. 日 時 令和6年9月27日（金）9:30～11:30
3. 場 所 市役所 農業委員会室
4. 出席委員：山崎会長、白川副会長、岩井委員、川井委員、國武委員、小山委員、富川委員、橋本委員、福井委員、村形委員、渡辺（壽）委員、渡辺（統）委員

事 務 局：岡本環境保全課長、海老原保全係長、増田主査、清田主査補、本庄主事

5. 傍 聴 者 0名

6. 配布資料

・会議次第

7. 内容

（1）開 会

（2）会長挨拶

（3）議 事

①いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050策定基本方針について

—いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050策定基本方針について事務局より説明—

議 長：ただいまの説明について、ご意見ご質問等があればお願いします。

委 員：環境基本計画は、抜き出した部分が変わることで、新しい環境基本計画ができるということか。

事務局：一部見直しということになり、大きく変わるわけではない。

委 員：環境基本計画を修正することにより、修正版ができるということではないのか。

事務局：新しいものを作るということは考えていない。

委 員：第6章を抜き出すという話があったため、元の環境基本計画については、6章が丸々抜き出されるのか、6章が一部見直されて残るのかわからなかったため質問した。

委 員：カーボンニュートラルについては、出す量を抑制するのと同時に吸収する量を増やさなければならぬ。30by30や、現在ある自然の吸収量を減らさないという考え方が、策定基本方針にも素案・たたき台にも、うたわれていないように感じる。

委 員：記載はされているが少しである。策定基本方針では、2ページの（3）「緑地の保全や」の一言である。

議 長：計画の中に、吸収面の取組の記載が薄いというご意見か。

委 員：吸収する森林を増やすことや、今ある自然生態系をこれ以上減らさないようにすること、具体的にはOECMに登録するなど、温室効果ガス排出量を抑制することばかり考えていて、吸収に関しては蔑ろにされている印象である。

委 員：計画の第5章の中に、グリーンインフラの取組が掲載されている。

委 員：グリーンインフラとはあるが、まちづくりの視点が欠けていると思う。開発地域においてどれくらい緑を確保するのか、これ以上開発を進めて良いのかなど、木を植えるという取組は書いてあるが、今ある緑を保全する、まちづくりの視点からの取組が欠けているように感じる。

議 長：今の意見について、事務局から回答があればお願いします。

事務局：素案・たたき台に関するご質問であると考えるため、説明を進めさせていただき、後ほどご意見・ご質問等いただきたいと思います。

委員：別表２のスケジュールについて、８月に市民の声を聞く会があったかと思うが、今後も開催されるということであれば、予定を教えてください。

事務局：この後の議題で説明させていただきたい。

②第３次印西市環境基本計画等の見直しについて

―第３次印西市環境基本計画等の見直しについて事務局より説明―

議長：ただいまの説明について、ご意見ご質問等があればお願いします。

委員：パブリックコメントについてのスケジュールが示されているが、広く市民の意見を聞く機会という理解で良いか。前回の市民会議では、告知期間が短く特定の人だけの参加となっていたのと、議題が多くなかなか意見がまとまりづらかったと感じた。

事務局：市民会議について、当初は無作為抽出で１０００人を対象に募集をかけたが、参加者の枠に余裕があり、後からホームページに掲載したため、告知期間が短くなってしまったという経緯である。

事務局：パブリックコメントは会議形式でやるのではなく、案を出して意見募集することを想定している。

委員：パブリックコメントの実施形式は理解しているが、対面形式で広く意見を聞く機会があった方が良いと感じている。

事務局：時間が限られる関係で、この後対面形式での市民会議を実施することは難しい。

委員：パブリックコメントについてはあまり意見が出ないことが多い。この内容はすごく大事かと思うため、パブリックコメントを始める前から、十分に宣伝した方が良いと思う。早めの二段階での周知をお願いしたい。１１月１５日号に載せるのであれば、１１月１日にも掲載してもらいたい。

事務局：１１月１日号は締切の関係で難しいが十分な広報については検討する。

委員：第三次基本計画に掲載中のグリーン大作戦の３つの項目はどうなるか。

事務局：基本計画の３つの重点的な取り組みの柱は活かし、指標が少し変わるという形となる。

委員：資料２の１ページの一番下から２行目の記載「印西市地球温暖化対策実行計画」の記載の部分で「化」が抜けているので補足願いたい。

５ページの市民会議と事業者会議が終わってからパブリックコメントを実施すると思うが、そのあと１月に行う予定の事業者会議は市民会議と合同か。一緒に議論する場がないのか。

事務局：個別に開催することを考えていて、合同で開催する予定はない。

委員：温暖化のＣＯ２の発生量は事業者が一番多い。事業者の責任は重いが、事業者だけで話し合うのはいかがか。

事務局：国においては温室効果ガスの排出量を２０５０年までカーボンニュートラルを目指す取組としてグリーン成長戦略を示している。データセンターや半導体産業は技術革新も含めて２０４０年までにカーボンニュートラルを目指すとして記載されていて、そこで足りない部分はカーボンオフセット又は非化石証書で目指すということでその動向を注視していくという状況である。

委員：市がやるにはなかなか難しいという状況か。

委員：環境推進会議に関して、環境推進会議の意見が審議会の答申に反映される仕組みになっている

るか。

事務局：環境推進会議は環境基本計画の取組の推進という役割が基本だが、計画には意見等を反映された状態でたたき台から素案にしていければと考えている。

③いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050（素案・たたき台）について

—いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050（素案・たたき台）について事務局より説明—

委員：再生可能エネルギーをメインにという話だが、あたりが太陽光パネルや風力発電の風車だらけにならないようバランスよくやっていただきたい。

議長：再生可能エネルギーの最大限導入に関しては、どのような形で進める予定なのか。

事務局：再生可能エネルギーのポテンシャルはP42とP68に示していて、環境省が出しているシステムのREPOSから算出している。建物系については官公庁、病院、学校、集合住宅棟等すべてで、土地系については最終処分場及び荒廃農地のみを入れており、田畑は算定基礎から除いている。風力地熱等はポテンシャルが認められないため除外している。

委員：荒廃農地と休耕田畑が一緒ではないことを期待している。

委員：目標はわかったが、実際にはどういう形で推進するのか。何かしら強制力がないと厳しいのではないか。

事務局：強制力は個人の財産でもあり、金銭も必要とされるため、補助金の拡充推進等の取組が必要だと考えている。官公庁の屋根等は積極的に再生可能エネルギーを導入し、民間の建物等への支援については今後の検討事項である。

委員：これをやるには、都市計画も大事だ。今後は官公庁の建物には必ず太陽光パネルを設置するといった条例の整備など、まちづくりの視点が重要と考える。まだ開発は進むため、新規の宅地開発や開発事業の際に十分な緑地の確保等のルールを定めていただきたい。

議長：推進本部の中に、都市計画課の方など推進に関して重要な部署のメンバーは入っているのか。

事務局：庁内の市長及び部長が集まる推進本部には入っていないが、幹事会で部の主管課、作業部会で課の環境推進主任を集めた会議を開催している。市民会議でいただいた貴重なご意見の反映はそれらの会議にお示ししながら議論を行いたいと考えている。

委員：PDCAサイクルを回していく中で、単年度ごとの進行管理が重要だと思うが、単年度ごとに定めた計画はあるのか。

事務局：毎年の計画目標は記載していない。環境白書の中で進行管理を把握する。環境基本計画は10年計画だが、比較するものとしては中間目標と最終年度で、概ね5年ごとの目標に対して達成度を図っていく。

委員：絵に描いた餅にならないよう進めて欲しい。印西市は開発がどんどん進んでいる。開発がどれだけ進んで宅地・開発地になったかなどのデータを掲載してほしい。

委員：環境家計簿は何年もやってきて効果が薄い。あまりこういった取組に関して重きを置かないほうが良いのでは。

委員：表やグラフが色々書かれているが、掲載データが2020年度だと令和7年に発行する刊行物としてはデータが古くなってしまうのではないか。データを最新化できる部分は最新化すべきと考える。

事務局：それぞれの出典に基づく最新のデータを掲載しています。すべてのデータで更新したもの

で掲載可能かどうかはお答えできない。データによって更新のタイミングが違うのでなるべく最新のデータを用いて掲載したいと考えている。

委員：R C Pに関する説明がないが、掲載すべきか疑問に思う。46%減という目標に対して、現在の達成状況が知りたい。森林面積や農地面積がどれだけ減ったかを書いてほしい。印西市の課題として開発がどんどん進み、緑が減っているという旨を書く必要があるのではないか。気候変動の適応において、都市計画上街路樹を植えたり、住宅地は緑地を取るなどといったことを記載したほうが良いと考える。

委員：多くあるのであればリスト化してまとめて提示していただくという形でいかがか。

議長：リストにさせていただいて次回11月15日に回答をいただくという形にしたい。追加での質問がある場合はメールや電話で事務局に送る形としたい。

委員：環境家計簿については、こんな大きな取組としての重点を設けているのはいかがか。

事務局：効果の大きそうなものから掲載するかどうか検討する。

④環境基本計画の推進に係る取組の検討（グループワーク）

議長：発表時間は今回時間の関係上なしとし、本日の議事を終了する。

（４）その他

—事務局からの連絡事項—

（５）閉会

以上

令和6度第3回印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年11月15日

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 壽

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 統之